

平成 16 年 12 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 10 月 22 日

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー (コード番号：2777 登録銘柄)

(URL <http://www.cassina-ixc.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 月岡 和夫

問い合わせ先 責任者役職名 取締役執行役員管理本部長

氏 名 小林 要介

(Tel : (0 3) 5 7 2 5 - 4 1 7 1)

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2 . 平成 16 年 12 月期第 3 四半期業績の概況（連結）(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,460	(9.7)	911	(27.7)	902	(35.5)
(参考) 15 年 12 月 期 第 3 四 半 期	6,798	()	713	()	665	()
(参考) 15 年 12 月 期	9,351		1,060		1,005	

(注) 1 . 前年同四半期については、対外発表を行っておりませんが、同様の会計処理方法に基づき算出しているため、ご参考として掲記しております。

2 . 前年同四半期については前々年四半期決算を実施しておりませんので、前年同期との対比は行っておりません。

(ご参考)

平成 16 年 12 月期第 3 四半期業績の概況（個別）(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 12 月 期 第 3 四 半 期	7,019	(9.6)	899	(36.5)	893	(45.3)
(参考) 15 年 12 月 期 第 3 四 半 期	6,407	()	659	()	614	()
(参考) 15 年 12 月 期	8,790		987		937	

(注) 1 . 前年同四半期については、対外発表を行っておりませんが、同様の会計処理方法に基づき算出しているため、ご参考として掲記しております。

2 . 前年同四半期については前々年四半期決算を実施しておりませんので、前年同期との対比は行っておりません。

[経営成績の進捗情報に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成16年1月1日～平成16年9月30日）におきましては、平成16年2月に青山本店の一部改装や百貨店内へのインショップを展開するなど、販売力の強化に努めてまいりました。また、平成16年8月をもってインポートファッション事業を行う子会社、株式会社トリアスの株式の一部を売却したため同社を連結決算から除外し、持分法適用関連会社といたしました。なお、これにより、連結子会社株式売却益として特別利益に9百万円を計上しております。

この結果、当第3四半期の連結業績につきましては、売上高7,460百万円、営業利益は911百万円、経常利益は902百万円となりました。

また、セグメント別事業の状況は以下のとおりです。

家具事業

家具事業においては平成16年2月に青山本店をリニューアル、同年同月に高島屋本店、同年3月には、阪急百貨店梅田本店にイクスシーコーナーを開設いたしました。また、大学や企業における中型案件の受注が複数あったことなどにより売上が伸張しました。商品では平成15年秋に当社イクスシーブランドのサブブランドとして比較的手頃な価格帯の「イースト・パイ・イーストウエスト」シリーズの第一弾を始めとした新商品の販売を開始し、順調に推移しました。この結果、当第3四半期の売上高は6,126百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は1,157百万円（前年同期比31.0%増）となりました。

生活雑貨事業

生活雑貨事業におきましては、新規卸販売先の開拓が不調に終わったことや、値上げの影響等により、売上高は809百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失は5百万円（前年同期は17百万円の営業利益）となりました。

インポートファッション事業

インポートファッション事業に関しましては、経営資源を本業に集中させるため、上記のとおり平成16年8月をもって株式会社トリアスの株式の一部を売却し、同社を連結決算対象から除外し、持分法適用関連会社といたしました。同社は平成16年8月までは連結決算に含み、同年9月より持分法適用関連会社となっております。なお、連結決算対象期間における当第3四半期の売上高は439百万円（前年同期比12.6%増）、営業損失は37百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

その他の事業

当事業年度は平成15年2月におこなった、大阪店のリニューアルによるカフェの集客増加等もありましたが、売上高は85百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は26百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年12月期の連結業績予想

当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成16年8月20日発表の平成16年12月期（平成16年1月1日～平成16年12月31日）の通期の業績予想に関して変更はございません。

以 上